

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月 8日
13時09分17秒作成

評価年度	平成29年度	所属	3001000000	議会事務局
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00815	議員報酬等関係事業
章	08	基本計画推進のために
節	04	計画的な行財政運営の推進
細節	00	
予算事業	10002	01 01 01 01 02 01 01 議員報酬等関係事業（議会費）
所属長	次長 古川 純子	担当者（内線）中西 佑旗（内線2305）
根拠法令等	吹田市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例、地方公務員等共済組合法及び同法施行令	
事業開始年度	不明	直近の改正 平成29年度
改正内容	期末手当支給月数の改正。（平成29年度：12月期2.20か月→2.30か月）	
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）	

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他	
対象	議員等	
目標	上記対象の支払を間違いや遅滞なく確実に行う。	
結果	パソコンを使ったデータ管理かつチェック方法の確立により、効率的で正確な事務処理を行っている。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市議会議員に対し報酬及び期末手当を支給する。（報酬月額：議長740,000円、副議長700,000円、議員650,000円。期末手当支給月数：6月期2.05か月、12月期2.30か月。） 市議会議員共済会に対し、定められた負担金を支払う。 	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①
		委託先②
		委託先③
	主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②	
	交付先③	
<input type="checkbox"/> その他	内容	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	502,931	512,816	509,335	512,159	508,142
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,347	2,384
総事業費(A+B)	505,382	515,186	511,751	514,506	510,526
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	505,382	515,186	511,751	514,506	510,526
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	505,382	515,186	511,751	514,506	510,526
財源計(C+D)	505,382	515,186	511,751	514,506	510,526

所属	議会事務局
事務事業番号	00815

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	・議員報酬及び期末手当の支給 ・市議会議員共済会への負担金の支払い	回	目標値	19.00	19.00	19.00
			実績値	20.00	20.00	
			達成度(%)	105.30	105.30	
目標値の積算方法	・議員報酬等の支払い回数の総数 ・共済会への支払い回数の総数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	25,759.30	25,725.30	
			一般財源(千円)	25,759.30	25,725.30	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	・議員報酬及び期末手当の支給 ・市議会議員共済会への負担金の支払い	回	目標値	19.00	19.00	19.00
			実績値	20.00	20.00	
			達成度(%)	105.30	105.30	
目標値の積算方法	・議員報酬等の支払い回数の総数 ・共済会への支払い回数の総数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	25,759.30	25,725.30	
			一般財源(千円)	25,759.30	25,725.30	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	正確に遅滞なく行うことができた。	達成状況	達成できた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 規定どおりに業務遂行しており、適切である。</p> <p>【今後の方向性】 継続する必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	議会事務局	事業名	議員報酬等関係事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00815				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
		内部管理	点		
		②サービスの水準は適正ですか。			
		内部管理	点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。			
		内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
		内部管理	点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		b. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	議会事務局	事務事業番号	00815
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、成果・コストともに最適であり、今後も継続してこの状況を維持する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
17時08分15秒作成

評価年度	平成29年度	所属	3001000000	議会事務局
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00816	市議会会議録作成事業							
章	02	市民自治が育む自立のまちづくり							
節	02	情報の共有化を進めるまちづくり							
細節	40	情報公開・情報提供の推進							
予算事業	10004	01	01	01	01	04	01	01	市議会会議録作成事業（議会費）
所属長	総括参事 岡本 太郎				担当者（内線）森岡 伸夫（内線2312）				
根拠法令等	地方自治法第123条、委員会条例第27条								
事業開始年度	不明	直近の改正		昭和39年度					
改正内容	本会議録については、議会会議規則の一部改正により、昭和39年3月定例会の会議録から印刷配布することになった。また、昭和63年4月に会議録配布要領を制定した。								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民、議員		
目標	法令等で定められた会議録を作成、配付することで、情報の共有化を図る。		
結果	市民の市政への関心と参画意識が向上する。		
事業概要	法令等で定められた市議会（本会議及び常任・特別委員会）の会議録を作成し、議員に配付する。また、市民が閲覧できるように各図書館等に開架する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	神戸総合速記（株）
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	本会議速記事務委員会等音声データ反訳業務
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	11,203	6,480	11,049	6,813	8,827
人件費職員数(人)	4.30	4.30	4.30	4.30	3.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	35,131	33,970	34,624	34,624	30,191
総事業費(A+B)	46,334	40,450	45,673	41,437	39,018
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	46,334	40,450	45,673	41,437	39,018
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	46,334	40,450	45,673	41,437	39,018
財源計(C+D)	46,334	40,450	45,673	41,437	39,018

所属	議会事務局
事務事業番号	00816

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	本会議録・委員会記録の作成回数	回	目標値	37.00	35.00	37.00
			実績値	37.00	35.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	本会議録・委員会記録の作成回数(実績)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,093.24	1,183.91	
			一般財源(千円)	1,093.24	1,183.91	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	本会議録・委員会記録の発行部数	部	目標値	1,875.00	1,775.00	1,500.00
			実績値	1,870.00	1,770.00	
			達成度(%)	99.70	99.70	
目標値の積算方法	1回当たり:本会議録55部(平成30年度から45部)、委員会記録等は50部(平成30年度から40部)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	21.63	23.41	
			一般財源(千円)	21.63	23.41	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 市民の市政に対する関心と参画意識の向上	達成状況 本事業の成果のみを把握することは困難であるが、市民の市政に対する関心などにつながる重要な事業と考えている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:本会議における一問一答方式の導入など質問方法の見直し等に伴い本会議が長時間化し、作成すべき記録の量が大幅に増加してきた時期もあったが、近年は作成回数がほぼ同数で推移する中、事業費も同様に推移しているため。)</p> <p>事業費削減及び財源確保に向けた取組として、今後、事務の効率化が必要である。具体的には、平成29年度より導入しているクラウド文書共有サービスの活用をさらに進め、議員の意向を踏まえながら配付資料のペーパーレス化等の紙資源使用の削減に取り組む必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	議会事務局	事業名	市議会会議録作成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00816				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		e. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	議会事務局	事務事業番号	00816
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成25年度に本会議及び委員会記録等の職員や一部公共施設への配付を見直し、本会議録の発行部数を150部から70部、それ以外の委員会記録等を60部に変更した。さらに、平成26年11月19日開催の議会改革特別委員会で議員への配付を見直し、平成27年度の本会議録の発行部数を65部、それ以外の委員会記録等を55部に変更し、その後、平成28年度、平成29年度は、本会議録の発行部数を55部、それ以外の委員会記録等を50部に、平成30年度は、クラウドシステムを導入したこともあり、本会議録の発行部数を45部、それ以外の委員会記録等を40部にそれぞれ変更している。
 また、本会議録の作成に当たり、担当職員が迅速に校正作業を進めることができるようにするため、今任期(平成27年の改選以降)から、委員会記録の文字遣いを、本会議録と同様に、速記の用字例に改めた。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

法令等に基づき市議会会議録等の作成が義務付けられているが、単に会議録を正確に作成し、迅速に公開するだけでなく、広く市民等に情報共有を図ることに努めている。また、本事業自体が、市議会や市政状況を市民等に周知するための市議会会議録検索システム事業や議会だより作成事業を始めとした事業の基礎となっている。
 以上のことから、客観的な成果を示す指標は設定できないが、事業目的は達成できていると考えている。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月 8日
13時10分10秒作成

評価年度	平成29年度	所属	300100000	議会事務局
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00817	市議会会議録検索システム事業				
章	02	市民自治が育む自立のまちづくり				
節	02	情報の共有化を進めるまちづくり				
細節	40	情報公開・情報提供の推進				
予算事業	10005	01	01	01	01 04 02 01	市議会会議録検索システム事業（議会費）
所属長	総括参事 岡本 太郎				担当者（内線）辻本 征志（2309）	
根拠法令等	なし					
事業開始年度	平成13年度	直近の改正	なし			
改正内容	なし					
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市民、議員、職員		
目標	①議会情報の公開の促進及び公開方法の多様化 ②本会議録、委員会記録の閲覧及び検索の迅速化、利便性の向上		
結果	①議会を含めた行政への関心を高め、市政への参加、参画を促す ②事務の効率化を進める		
事業概要	本会議録、委員会記録をインターネットで閲覧、検索できるシステムを運用することにより、行政情報提供の機会を増やし、開かれた議会を目指すとともに、質問・答弁の検索を容易にし、事務の効率化を図る。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株) 会議録研究所
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	機器、システムのホスティング、データ変換
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,288	1,016	1,202	985	1,147
人件費職員数(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	3,268	3,160	3,221	3,130	3,178
総事業費(A+B)	4,556	4,176	4,423	4,115	4,325
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,556	4,176	4,423	4,115	4,325
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,556	4,176	4,423	4,115	4,325
財源計(C+D)	4,556	4,176	4,423	4,115	4,325

所属	議会事務局
事務事業番号	00817

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	本会議、委員会記録の作成回数	回	目標値	37.00	35.00	34.00
			実績値	37.00	36.00	
			達成度(%)	100.00	102.90	
目標値の積算方法	本会議録、委員会記録の作成に伴うデータの更新回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	112.86	114.31	
			一般財源(千円)	112.86	114.31	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	インターネット上の会議録検索システムの閲覧カウント	件	目標値	36,000.00	37,000.00	37,000.00
			実績値	43,619.00	44,567.00	
			達成度(%)	121.20	120.50	
目標値の積算方法	市民の10分の1が年1回閲覧	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.10	0.09	
			一般財源(千円)	0.10	0.09	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 本会議録、委員会記録の作成回数がほぼ同数で推移する中、事業費も同様に推移しており、妥当と考えられる。</p> <p>【指標数値の評価】 閲覧件数がほぼ同数で推移しており、投じた費用に見合う効果が得られていると判断される。</p> <p>【今後の方向性】 近年、地方分権の推進や、地方議会改革が求められており、市民等への情報公開の必要性がますます高まる中、会議録検索システムの重要度も一層高まるものと考えられるため、今後も継続することが不可欠である。</p>

事務事業分析シート

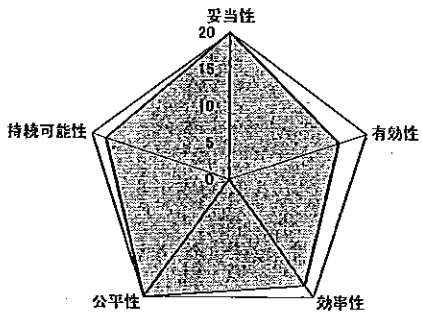
所属名	議会事務局	事業名	市議会会議録検索システム事業	事業区分	その他
事務事業番号	00817				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>会議録作成業務において作成した会議録のデータを用いて、本事業を行っている。そのため事業手法には選択の余地が少なく、効率性の評価においては改善が難しい部分もある。ただ、市民が議会での議論の内容を正確にかつ迅速に知るためには、本システムは欠くことのできないものである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

スマートフォンなどの携帯端末の画面に対応した閲覧しやすいシステムへの改善について、検討する必要がある。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
17時45分32秒作成

評価年度	平成29年度	所属	3001000000	議会事務局
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00818	議会だより作成事業							
章	02	市民自治が育む自立のまちづくり							
節	02	情報の共有化を進めるまちづくり							
細節	40	情報公開・情報提供の推進							
予算事業	10006	01	01	01	01	05	01	01	議会だより作成事業（議会費）
所属長	次長 古川 純子				担当者（内線）板津 友哉（2307）				
根拠法令等	すいた市議会だより発行規程								
事業開始年度	昭和30年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市民、市内通勤・通学者、議員、職員等		
目標	議会だよりを全戸配布し、議会に関する情報提供を行う。		
結果	議会を含めた行政への関心を高め、市政への参加、参画を促す。		
事業概要	「すいた市議会だより」を市報すいたと合同で年6回発行し、議事の内容や議会の活動を市民に情報提供する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株) 廣濟堂
		委託先②	一般財団法人 大阪府視覚障害者福祉協会
		委託先③	有限会社 リポート
		主な委託内容	印刷、声の市議会だよりと点字版作成・発送
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	6,890	6,882	7,655	6,515	7,220
人件費職員数(人)	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	17,974	17,380	17,715	17,715	17,479
総事業費(A+B)	24,864	24,262	25,370	24,230	24,699
特定財源(C)	276	258	653	653	418
国	184	172	436	436	279
府	92	86	217	217	139
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	24,588	24,004	24,717	23,577	24,281
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	24,588	24,004	24,717	23,577	24,281
財源計(C+D)	24,864	24,262	25,370	24,230	24,699

所属	議会議務局
事務事業番号	00818

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	すいた市議会だよりの発行	回	目標値	6.00	6.00	6.00
			実績値	6.00	6.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	年間の発行回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4,043.67	4,038.33	
			一般財源(千円)	4,000.67	3,929.50	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 すいた市議会だよりの配布	達成状況 市報すいたと合同発行し、広報課の委託先が市内全戸に配布している。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:平成24年度(2012年度)から市報と合同発行を開始したことにより、市内全世帯及び駅置き分にかかる配布委託料が節減され、費用対効果が高まっている。)</p> <p>【指標数値の評価】 4定例会、役員改選、決算審査の内容を市民と情報共有するために年6回発行しており、目標は達成できているが、定例会終了後概ね1か月後に速報版を市議会ホームページに掲載することで、発行時期による情報共有の遅れの解消にも努めている。</p> <p>【今後の方向性】 より多くの市民に読んで頂けるような紙面づくりの一環として、平成29年度から紙面のカラー化を行い、平成30年度には大幅なレイアウト変更に取り組んでおり、今後も議会と市民とをつなぐ役割として継続する必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	議会事務局	事業名	議会だより作成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00318				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	96	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	議会事務局	事務事業番号	00818
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成26年9月定例会から、議会だよりの閲覧の即時性を図るため、定例会終了後、おおむね1か月後に、議会だよりの(速報版)を議会だよりが発行されるまでの間ホームページに掲載している。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成24年(2012年)3月定例会号から市報すいたと合同で発行しており、より市民に読んでもらえる機会が増えていると思われる。また、定例会号でタブロイド判4ページからA4判16ページに増えたことで、その内容も大幅に充実している。</p> <p>議会の情報が自宅等で容易に一覧できる議会だよりは、市民の議会への関心を高めるためには非常に重要なものである。インターネットを利用する環境にない市民をはじめ多くの市民に、議会への関心を持ってもらうための第一歩として、分かりやすく、読みやすい紙面づくりに努めていく必要があると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
17時09分44秒作成

評価年度	平成29年度	所属	3001000000	議会事務局
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00819	資料作成事業							
章	02	市民自治が育む自立のまちづくり							
節	02	情報の共有化を進めるまちづくり							
細節	40	情報公開・情報提供の推進							
予算事業	10007	01	01	01	01	06	01	01	資料作成事業（議会費）
所属長	総括参事 岡本 太郎				担当者（内線）井上 孝昭（2309）				
根拠法令等	なし								
事業開始年度	昭和44年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民、議員、職員		
目標	本市の事業等について、情報共有を図る。		
結果	議会の審議が活性化するとともに、市民の市政への参画意識が高まる。		
事業概要	本市の事業概要を掲載する「市政概要」を平成29年度から隔年で作成し配付するとともに、ホームページで公開する。なお、平成29年度までは毎年作成していた。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	大和写真工業（株）
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	印刷、製本
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	648	416	621	0	327
人件費職員数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,902	4,740	4,832	4,832	795
総事業費(A+B)	5,550	5,156	5,453	4,832	1,122
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	5,550	5,156	5,453	4,832	1,122
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,550	5,156	5,453	4,832	1,122
財源計(C+D)	5,550	5,156	5,453	4,832	1,122

所属	議会事務局
事務事業番号	00819

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市政概要の作成	回	目標値	4.00	0.00	1.00
			実績値	4.00	0.00	
			達成度(%)	100.00	0.00	
目標値の積算方法	市政概要作成回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,289.00	0.00	
			一般財源(千円)	1,289.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市政概要の配付	部	目標値	810.00	0.00	160.00
			実績値	810.00	0.00	
			達成度(%)	100.00	0.00	
目標値の積算方法	議員、職員等への配付部数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6.37	0.00	
			一般財源(千円)	6.37	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 議員が市政概要を用い、市政への基礎知識を深めて、議会での調査や質問等に活用されている。	達成状況 定量的に成果の達成状況は確認できないが、多くの議員が使用しているため、成果があると考えている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等及び指標数値の評価】 市政概要は、掲載内容が毎年大きく変わることがないため、平成29年度から隔年発行に見直した。平成29年度の発行実績はないが、隔年発行に変更したことで、費用対効果が高まったと考えられるため、事業費も適正と考えている。</p> <p>【今後の方向性】 有効性が高いため、今後も継続することは妥当である。当面は隔年発行を行うが、さらに費用対効果が高まるような見直しを引き続き検討する。</p>

事務事業分析シート

2018/8/2211:55

所属名	議会事務局	事業名	資料作成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00819				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
		③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	86	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点		
		②サービスの水準は適正ですか。			
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。			
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	86	④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	86	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名	議会事務局	事務事業番号	00819
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>平成29年度から市政概要は、隔年発行に変更しており、平成29年度は発行していないが、現状を鑑み、隔年発行に見直したことにより、費用対効果は高まっていると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月 8日
13時10分45秒作成

評価年度	平成29年度	所属	3001000000	議会事務局
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00820	本会議放映事業		
章	02	市民自治が育む自立のまちづくり		
節	02	情報の共有化を進めるまちづくり		
細節	40	情報公開・情報提供の推進		
予算事業	10008	01	01	01 01 07 01 01 本会議放映事業（議会費）
所属長	総括参事 岡本 太郎		担当者（内線）山本 紘也（内線2313）	
根拠法令等	自治基本条例（第10条、第15条）			
事業開始年度	平成23年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市民、議員、職員		
目標	本会議等の映像をインターネット配信することにより、市民と市政に関する情報を共有する。		
結果	市民の市政への関心を高め、市政への参画を促すことができる。		
事業概要	本会議等の映像を撮影し、インターネットを利用して生中継及び録画放映を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株) 会議録研究所
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	撮影データのインターネット配信業務等
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,697	1,562	1,697	1,491	9,704
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.60
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	3,912	4,767
総事業費(A+B)	5,782	5,512	5,723	5,403	14,471
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	5,782	5,512	5,723	5,403	14,471
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,782	5,512	5,723	5,403	14,471
財源計(C+D)	5,782	5,512	5,723	5,403	14,471

所属	議会議務局
事務事業番号	00820

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	本会議等のインターネット生中継	日	目標値	26.00	26.00	30.00
			実績値	26.00	30.00	
			達成度(%)	100.00	115.40	
目標値の積算方法	インターネット生中継実施日数(前年度実績)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	212.00	180.10	
			一般財源(千円)	212.00	180.10	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	インターネット放映アクセス件数	件	目標値	36,000.00	37,000.00	37,000.00
			実績値	9,613.00	9,467.00	
			達成度(%)	26.70	25.60	
目標値の積算方法	市民の10分の1が年1回閲覧	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.57	0.57	
			一般財源(千円)	0.57	0.57	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:事業費総額は増加しておらず、事業費の水準は妥当であると考えたため。)</p> <p>【指標数値の評価】 活動指標(本会議等のインターネット生中継日数)は増加しているものの、成果指標(インターネット放映アクセス件数)の推移は減少傾向にあり、事業成果は改善の余地がある。今後、事業成果の目標を達成するためには、放映方法等を改善する必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 事業成果の改善のため、システム改修を行い、平成30年8月からタブレットやスマートフォンなど携帯端末でも視聴が可能となり、利便性の向上と対象者の拡充が図られると考えている。市民等への情報公開の必要性がますます高まる中、今後も委員会審査の放映の検討など事務改善を行いつつ事業を継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

所属名	議会事務局	事業名	本会議放映事業	事業区分	その他
事務事業番号	00820				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	議会事務局	事務事業番号	00820
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成24年(2012年)3月定例会からインターネット放映を実施しているが、本会議の審議状況を公開することで、議会として積極的な情報公開、情報提供ができています。アクセス数は減少傾向にあるが、傍聴に来ることが困難な方に本会議の審議状況を公開することは、公平性の観点からも重要であり、事業の実施意義は高いと考える。また、本会議放映については平成30年(2018年)8月からタブレットやスマートフォンなどの携帯端末での視聴が可能となり、事業の有効性向上に寄与するものとする。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
17時37分15秒作成

評価年度	平成29年度	所属	3001000000	議会事務局
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01665	議会傍聴支援事業		
章	02	市民自治が育む自立のまちづくり		
節	02	情報の共有化を進めるまちづくり		
細節	40	情報公開・情報提供の推進		
予算事業				
所属長	次長 古川 純子		担当者（内線）西川 克弥（2305）	
根拠法令等	吹田市議会傍聴時一時保育実施要領			
事業開始年度	平成28年度	直近の改正	平成28年度	
改正内容	第2条（実施会議） 対象となる会議を本会議の質問日のうちの1日目及び2日目から質問日の全てとした。			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	生後12か月以上就学前の幼児をもつ保護者		
目標	傍聴機会の平等化を図り、開かれた議会を実現する。		
結果	議会傍聴をきっかけに市政への関心が高まり、市政への参画意識が促される。		
事業概要	議会の傍聴を支援することにより、傍聴機会の平等化を図り、開かれた議会を実現することを目的とする。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	266	107	172	38	148
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	266	107	172	38	148
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	266	107	172	38	148
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	266	107	172	38	148
財源計(C+D)	266	107	172	38	148

所属	議会事務局
事務事業番号	01665

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	一時保育の対象となる会議日数	日	目標値	6.00	8.00	0.00
			実績値	1.00	3.00	
			達成度(%)	16.70	37.50	
目標値の積算方法	一時保育実施回数の総数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	107.00	12.67	
			一般財源(千円)	107.00	12.67	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	8.00	0.00
			実績値	0.00	3.00	
			達成度(%)	0.00	37.50	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	12.67	
			一般財源(千円)	0.00	12.67	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 傍聴機会の平等化	達成状況 幼児をもつ保護者に対して一時保育を行うことで、傍聴機会の平等化が図れた。

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 近年、地方議会改革が求められており、開かれた議会の実現に向けて誰もが参加、参画できる環境づくりの一環として議会傍聴支援を実施することの重要性は増している。 事業費に関しては、保育の希望がある場合にスタッフ等を依頼するなど限られた支出のみに抑えられており、費用に対する効果は適正であると考え。</p> <p>【今後の方向性】 議会傍聴機会の平等化の観点から、今後も継続すべき事業であると考えため、多くの市民に本事業を知ってもらうための取組等を検討していきたい。</p>

事務事業分析シート

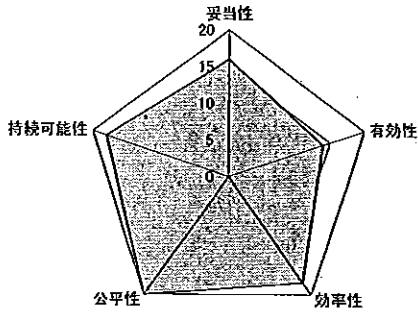
所属名	議会事務局	事業名	議会傍聴支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	01665				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、平成28年度から実施しており、利用者は僅かではあるが増加している。傍聴機会の平等化を図ることは、議会改革の一環である「開かれた議会」の実現に向けて大変重要であると考えている。より利用しやすい制度とするため、利用可能日や申込期限の延長などの改善を図っており、今後も利用が増える取組等を検討していきたい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月 8日
13時11分14秒作成

評価年度	平成29年度	所属	3001000000	議会事務局
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01764	議会サポート事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	11897	01	01	01	01	09	01	01	議会サポート事業（議会費）
所属長	次長 古川 純子							担当者（内線）中西（2305）	
根拠法令等	なし								
事業開始年度	平成29年度	直近の改正	なし						
改正内容									
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	議員		
目標	議会運営等の効率化を図る		
結果			
事業概要	円滑で的確・効率的な議会運営を行うための環境整備を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	クラウド型文書管理システムを利用し、議案書等のペーパーレス化を図っている。	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	602	474	1,045
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.10	0.10	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	0	0	806	783	3,973
総事業費(A+B)	0	0	1,408	1,257	5,018
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	1,408	1,257	5,018
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	1,408	1,257	5,018
財源計(C+D)	0	0	1,408	1,257	5,018

所属	議会事務局
事務事業番号	01764

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	先例がない事案への対処で誤った議会運営を行うことがないよう専門的知見を活用するとともに、クラウドシステムを効果的に活用することで、会議等を円滑、効率的に運ぶ。	目標	円滑で的確・効率的な議会運営を行う。
成果内容	クラウドシステムの導入により、議員が場所や時間の制約を受けずに会議資料を含め必要な情報や資料を閲覧することが可能になった。	達成状況	平成30年2月開催の特別委員会提出資料からクラウドシステムへの掲載を開始しており、当初の計画どおり有効活用できている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 資料等をクラウド上に掲載することで、議員が場所や時間の制約を受けずに資料等を閲覧することが可能になり、印刷に要していた作業時間が節減されるとともに、ペーパーレス化にもつながる。)</p> <p>【指標数値の評価】 クラウドシステムは平成30年1月に導入したが、平成29年度は資料等の掲載作業が主であったため、指数評価には至っていない。</p> <p>【今後の方向性】 より円滑な議会運営を進めるために継続すべき事業である。</p>		

事務事業分析シート

2018/8/2211:55

所属名	議会事務局	事業名	議会サポート事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01764				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(5) 持続可能性 (20点)	8	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
		内部管理	点		
		②サービスの水準は適正ですか。			
		内部管理	点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。			
		内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	8	④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
		内部管理	点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点		
(5) 持続可能性 (20点)	8	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		評価点合計 (100点満点)	75	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	議会事務局	事務事業番号	01764
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成29年度から先例がない事案への対応で誤った議会運営を行わないように、また、停滞することなく議会運営を運ぶため、専門的知見を活用した議会アドバイザーを設置している。現時点では、アドバイザーの活用事例はないが、事案が発生したときには専門的な意見を得れることは、円滑な議会運営をサポートする上で重要であると考えます。</p> <p>また、平成30年1月からクラウドシステムを導入し、会議資料のペーパーレス化や事務の効率化が図れている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)